

献血される方と患者さんの安全を守るため、受付の際に「お願い！」パンフレットが渡されます。重要な内容ですので、生徒に指導する際の参考にしてください。

## 献血前にお読みください

### ●献血前に

- ◆お名前、生年月日、住所、電話番号などは正確にお答えください。
- ◆初めて献血される方は、ご本人の確認のため、運転免許証などの提示をお願いします。
- ◆問診項目には正確にお答えください。事実と異なる回答をされた場合、輸血を受けた患者さんに深刻な状況をもたらす場合があります。
- ◆献血に伴う副作用予防のため、献血前に水分(スポーツドリンク等)を補給してください。
- ◆献血後に高所作業や激しいスポーツ、自動車の運転等をされる方は献血前にお知らせください。特に乗り物の運転をされる方は、献血後に十分な休憩(30分以上)をおとりください。

### ●献血時は

- ◆血圧や血色素量(ヘモグロビン濃度)を事前に測定します。
- ◆200mL・400mL献血では10分から15分位、成分献血では体重等に応じて採血する量(上限 600mLまで)が異なりますので、40分から90分位の採血時間がかかります。
- ◆採血針や血液バッグ等は、お一人ずつ使い捨てとなっています。
- ◆採血装置の不具合等により、採血が中断されたり、いただいた血液が血液製剤に使用できなくなることがあります。

### ●献血に伴う注意と副作用

- ◆血液には鉄分が含まれているため、献血により身体から鉄分が失われます。日頃から鉄分を補う食事を心がけましょう。
- ◆次のような症状が起きた場合は、すぐに職員にお知らせください。
  - ・針を刺したときに、強い痛みやしびれがある場合。
  - ・気分不良やめまい等の症状がある場合。※立ち上がりず、そのままの姿勢でお知らせください。
  - ・口唇や手足のしびれ感などの症状がある場合。※成分献血では血液が固まらないように抗凝固剤(クエン酸ナトリウム)を使用しているため、このような症状を起こすことがあります。
  - ・皮下出血がある場合。
- ◆採血針を刺したところに、針跡が残ることがあります。

### ●献血いただいた血液は

- ◆検査を実施し、血液製剤の基準に適する場合のみ、輸血などの血液製剤に使用いたします。
- ◆血液の一部は少なくとも11年間冷凍保存し、輸血による副作用や感染症などの調査のために使用します。

### ●献血の依頼について

- ◆受付時に確認させていただく「献血の依頼についての応諾意思」に同意いただいた方には、はがき、電話、メール、LINE等により、患者さんに必要な血液製剤を供給するために、献血のご協力をお願いする場合があります。